明日を見つめて、後志を創る―
確かな決断と実行

農林水産業にもっと実りを
- 生産基盤の充実で持続的農業の発展
- 実行力のある漁業経営安定対策の強化
- 林産業の振興

経済を活性化し雇用を創出
- ものづくり産業を担う人材の育成
- 環境リサイクル産業の振興

魅力あれる観光後志に
- 地域の個性を生かした観光振興と国際化推進
- 「食」と「観光」のブランド化
- 観光と連動した社会基盤整備の促進

少子・高齢社会に対応し福祉を充実
- 子育て支援の強化
- 心身の成長、人間形成に大きな影響を及ぼす食育の推進
- 高齢者、心身障害者支援の充実

安全・安心に暮らすことができるまちに
- 暮らしの安心・安全の確保
- 災害に強いまちづくりの推進
- 犯罪のない地域社会の構築

地域を支える人間教育を
- 学力と教員資質の向上
- 道徳心や公共心、社会性の育成
- 児童・生徒の体力の向上

水産林務　日本海漁業の振興

▲ニシン稚魚放流調査について道に要望

小樽海岸ではニシンの群来(くき)が見られるようになり、長年のニシンの稚魚放流の成果が出てきました。しかし、積丹半島から南ではニシンは捕れないとしていましたが、泊村から寿都町にかけて少ないながらその姿が見えてきました。

地域の強い要望があり平成二十年度から今年度まで三年間、泊村ホリカップ海岸からニシン稚魚三十万尾の放流調査を続けていました。放流は二十二年度で終了となっていましたが、関係町村漁組の強い要請もあり、道水産林務部は早い放流効果を得たいとして平成二十三年度から四十万尾に増やし、ニシン稚魚放流をすることとしています。群来が見られるよう期待します。

この他、積丹沖合漁場魚礁、積丹漁場ヤリイカ産卵礁、神恵内大森漁場、寿都漁場ヤリイカ産卵礁、島牧沖合漁場魚礁の漁場整備を予定。漁港関係では積丹町で美国海岸環境、日司漁港整備、神崎漁港整備、神恵内村で珊内漁港整備、神恵内漁港生産基盤及機能保全整備、泊村で泊漁港整備、寿都町で美谷漁港浚渫整備、島牧村で第二栄浜漁港整備がそれぞれ予定され、漁港関係予算は約六億八千万円となっています。

▲豪雨災害で賀老川が氾濫。道や国に緊急措置を要請

漁業基盤整備はまだまだ必要であり、磯焼けやトド対策など多くの課題があると承知しており、しっかり取り組みます。

林務予算では自民党政権の経済対策予算である森林整備加速・林業再生基金約三十一億円が新年度に投入されます。造林・林道・治山と基金事業で後志管内は約十七億円の事業規模で、前年対比約三%増の見込みです。

その他、前政権の経済対策予算による福祉施設等の耐震化整備事業として全道八十五億円の基金が投下され、管内四施設で約十二億円の改築が行われる予定です。

我が国、日本を思う

▲倶知安自衛隊の記念行事で挨拶

政権交代後、鳩山、菅政権での領土と安全保障など防衛の課題が顕在化して、独立国家としての日本の主権が危うさを増してきています。

沖縄普天間基地の問題、尖閣諸島での中国漁船の衝突事件、さらにはスキを見せるやいなや、即座に北方領土へ舞い降りたメドベージェフ・ロシア大統領と、第二次大戦終戦時を彷彿(ほうふつ)させる大変な事件となっています。抑止力のなんたるかを全く分かっていないリーダーと現政権のために、日本が危うくなっています。

自衛隊は南にシフトし、北の守りが手薄になるのは必至です。どうも北海道自衛隊の体制維持では済まなくなるような気がしています。特に、倶知安町山麓地域は自衛隊とともに発展してきました。倶知安駐屯地の一層の充実が求められてきます。

▲予算特別委員長として手腕を発揮

◀各種団体からの要望を受け道政に反映

▲原発防災訓練

◀街頭で自民党の政策を訴える

◀技能者研修会で挨拶

“省エネ仲良し”ショウくん、エネちゃんの見たい・聞きたい・知りたい　コーナー

電力の交付金について

ショウくん　ねぇ、エネちゃん、この前街頭で村田道議が電源立地地域の交付金の何とかと言う話してたよね。

エネちゃん　そうそう、電源立地地域対策交付金の電力移出県等交付金(相当分)と言ってたよ。

ショウくん　なんか難しい名前だけどそれは何なの。

エネちゃん　原子力・地熱・水力・火力発電施設が対象で、都道府県にある発電電力量が都道府県の消費電力量を一・五倍以上、比率で上回ることが大事な要件なんだ。一定の決められた係数で算定されて、初めて平成二十二年度から北海道に交付されることになったんだって。

ショウくん　へーどうして今までもらえなかったの?

エネちゃん　村田道議は初当選以来、国会議員の先生方にお願いしてエネルギー庁に何度も行って、法律ではもらえることになっていると話に行っていたんだって。でも実際に他の県に電気を送っていないとだめって言われて、法律は実際に送らなければだめだとどこにも書いてないって食い下がったけどだめ。悔しい思いでいつも帰ってきたって話してたよ。

ショウくん　頑張ってるのにかわいそうだね、でも何で決まったの。

エネちゃん　函館と青森の間に北本幹線で言う直流の太い海底ケーブルがひかれていて、緊急や互いに電力が足りなくなった時に本州に送ったり、本州から送られたりできるようになっている。村田道議が交渉に行き始めた頃から本州に送電することが多くなってきた事や、国のエネルギー政策で原子力発電のプルサーマル計画などがあって、国も話を聞くようになってきたって言ってたよ。

ショウくん　それでその後どうなったの。

エネちゃん　ここから大事なんだけど、自民党政権で経済産業省の副大臣に吉川隆盛前衆院議員が就任して話がどんどん進んで行ったんだけど、今、残念だけど吉川先生が議席を失ってしまった。でも、再起をかけて頑張るって言っている。今度は必ず勝つよ。応援しようね。吉川先生の力とエネ庁の担当者のお陰で平成二十年に内定したんだけど、政権交代のお陰で一年ずれ込んだって。

ショウくん　やっぱり自民党政権でないとだめだね。それでいくら交付されたの。

エネちゃん　エネ庁に通い始めて、何度も悔しい思いをして七年かかったって。でも、平成二十二年度は約九億七千万円が道に交付された。今の政権の事業仕分けで減額されそうだけど、毎年交付されることになるのよ。

ショウくん　村田道議頑張ったね。毎年だと十年で九十億円、二十年で百八十億円、すごいよね。

エネちゃん　この交付金は原発立地点の岩宇地域だけじゃなく、水力発電のある蘭越町、ニセコ町、京極町にも少しだけど交付されているし、北海道の事業で一村一炭素落とし事業として、道内の市町村や団体等が行うCO_2(二酸化炭素)の削減や省エネ事業に補助する制度等を新設し三億六千万の予算が付いてるよ。

ショウくん　すごいね、原発だけじゃないんだ。後志全域や北海道全部が関係するんだ。みんなで工夫して街の元気につなげてほしいね。

エネちゃん　ほんとだね、CO_2を出さない原発の安全運転は当然だけど、地球温暖化、環境破壊、もっともっと自然を大切にしなければね。村田道議にはまだまだ頑張ってもらわないとね。

ショウくん　みんなで応援しようね。またねぇー。